



交通安全情報

やまなし

CONTENTS

- (2) (一財)山梨県中学生交通安全弁論大会
(一財)山梨県中学生交通安全弁論大会優勝作品
(3) 第47回交通安全子ども自転車山梨県大会

- 地域交通安全活動推進委員研修会の開催
反射材の普及・啓発活動
(4) 各地区交通安全協会の活動
賛助会員の募集

一般財団法人 山梨県交通安全協会
発行所
山梨県交通安全活動推進センター
TEL 055-280-5550
〒400-0202 南アルプス市下高砂 847
ホームページ
<http://www.yamanashi-ankyo.jp>

194号

回覧 富自治連
承認第95号

年末の交通事故防止県民運動 12月1日から31日まで実施



安協女性部による幼児交通安全指導(甲府)

年末の交通事故防止県民運動内容

平成28年度「年末の交通事故防止県民運動」(山梨県交通安全対策本部・山梨県交通安全対策推進協議会主唱)が12月1日(木)から31日(土)までの1ヶ月間実施されます。年末は1年の中でも最も忘年会などで飲酒の機会が増えるため、交通事故や違反の増加が懸念されます。

運動の**重点目標**は、

- ① 飲酒運転の根絶
- ② 早めのライト点灯・上向きライト活用の徹底と反射材使用の推進
- ③ 自転車の安全で適正な利用の推進
- ④ 高齢者と子供の交通事故防止
- ⑤ 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ⑥ 二輪車の交通事故防止

です。

私たち県民一人一人が交通安全意識の高揚を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を徹底させ、交通事故防止を推進してもらいたいと願っています。



「ハンドルキーパー運動」推進中

平成28年交通安全スローガン

◆ 運転者(同乗者)に対するもの
こんばんは 早めのライトで ごあいさつ

◆ 歩行者・自転車利用者に対するもの
シニアこそ ジュニアのお手本 交通安全

◆ こども部門
しんごうが あおでもよくみる みぎひだり

(一財) 山梨県中学生交通安全弁論大会

丸山真由さん(甲陵中学校3年)が優勝!!

第58回山梨県中学生交通安全弁論大会(山梨県警察本部・(一財)山梨県交通安全協会共催)が10月20日、富士川町内の「ますほ文化ホール」で開催されました。大会には、県内12警察署管内の地区大会で優秀な成績を収めた12人など14人が参加し、持ち時間5分で「論旨の分かりやすさ」「表現の適切さ」「発表の態度」を基準に審査した結果、「映して安心、広がる安全」の演題で発表した北杜市立甲陵中学校3年丸山真由さんが優勝しました。出場者は、自らの体験などを通じて感じた事を中学生の目線から訴え、審査員をはじめ観衆に感動を与えました。

弁論の内容につきましては、「中学生交通安全弁論要旨集」を発行し、県下の中学校をはじめ、関係機関・団体に交通安全教育資料として配布します。

◇優勝

丸山 真由(甲陵中学校3年)

◇準優勝

小池 今日佳(猿橋中学校3年)

村田 水桜(塩山中学校3年)

小澤 菜緒(南西中学校3年)

◇優秀賞

杉山 彩水(八田中学校2年)・飯沼 ひろ香(笛南中学校2年)

大柴 流空(玉幡中学校2年)・松永 裕希(富士見台中学校3年)・小林 明日香(勝山中学校3年)

古家 有真(上野原中学校1年)・藤原 宏一郎(春日居中学校3年)・松井 英香(増穂中学校3年)

浅原 亜衣(身延中学校2年)・井上 公太(六郷中学校3年)

(発表順)=以上敬称略

山梨県中学生交通安全弁論大会

主催 / 山梨県警察本部 ・ (一財) 山梨県交通安全協会



(一財)山梨県中学生交通安全弁論大会優勝作品

「映して安心、広がる安全」 丸山 真由(甲陵中学校3年)

「10cm」…ほんのわずかな距離が、私の人生を変えていたかもしれません。下校中、小学生が歩道に広がって歩いている姿を見ると、私の頭の中にはいつもこの数字が浮かびます。

小学生のある日のこと。学校が終わった後、私は近所の友達の家で遊ぶ約束をしていました。その日は宿題が多く、約束した時間はとくに過ぎていました。私は、宿題が終わるとすぐに家を飛び出し、自転車に飛び乗り、歩道を猛ダッシュでこぎ始めました。しかし、前方には歩行者が。スピードを落とすことなく、車道にでました。その瞬間、激しいクラクションの音。私は凍りつきました。自転車から転げ落ち、そして倒れました。立ち上がらなければ…、けれど立てない。「なんで。」ジャージの右袖を車のタイヤが引いていました。

幸い、けがは軽い傷だけで済みました。しかし、あと10cm車のタイヤの位置が違っていたら、おそらく今、私のこの右腕はないでしょう。「交通事故なんて起こるわけないよね。」そう思っていた私の、その油断が、交通事故を引き起こしたのです。しかし、「油断をしない、マナーを身に付けること」それだけではなかなか自転車事故はなくなりません。一人一人の意識を高めることが前提としても他にも何か対策はないのでしょうか。

あの日、私は、後ろから車が来ている事を確認せず、交通事故に遭いました。あの時は、心に余裕がなく、スピードも出してとても確認できませんでした。もし、後ろを振り返れば自転車のバランスを崩し、転倒するか、歩行者にぶつかっていたでしょう。あの時、どうしたら車を確認できたのでしょうか。

車やバイクにはバックミラーがあります。あの時、私の自転車にバックミラーがあれば、事故を防げたかもしれません。

自転車は道路交通法の改正により、車道左側を通行することになり、歩行者に対する安全性は高まりました。しかし、車は自転車のすぐ近くを追い越すことになり、自転車が車に追突される危険性は高まりました。皆さんも自転車を運転している時車が自分の肩すれすれを通り、ヒヤッとしたことはありませんか。自転車の後方確認の必要性や頻度は高くなったのです。

だからこそ、私は自転車にバックミラーをつけることを法令等で義務付けるべきだと思います。今、自転車に必ず装備しなければいけないのはブレーキとベルのみです。しかし、車道を走る軽車両として、安全を確保するためにバックミラーは必要なのです。インターネットでは、様々な自転車用バックミラーが売られており、実際取り付けてみると、音がしない車、遙か遠くの車も確認することが出来ました。しかもデザインもすてきです。

バックミラーの義務化がすぐに行われるのは難しいことかもしれませんが、今、私達に出来ることがあります。まずは自分の自転車にバックミラーを取り付けること。そして、家族や友達にバックミラーを勧めること。その輪を少しずつ広めることでバックミラーの義務化にもつながり、また、私達を事故から救っていくことにも繋がるのです。



第47回交通安全子ども自転車山梨県大会

第47回交通安全子ども自転車大会(山梨県警察本部・(一財)山梨県交通安全協会共催)が7月9日、小瀬スポーツ公園体育館で開催されました。大会は、児童が交通知識を身に付け、その習慣化を図る事によって交通事故防止を図ることを目的に毎年開催していますが、本年は小瀬スポーツ公園のメインアリーナで開催したところ、県内の各地区代表12校17チーム、68人の選手が参加して、学科・法規・技能走行の各テストを競い合いました。



団体部門では、北杜市立高根東小Aチーム(20年連続、通算38回目)、個人部門では、高根東小Aの川上理湖さんが優勝しました。主な成績は次のとおりです。(敬称略)

なお、優勝した北杜市立高根東小チームは、8月3日、東京ビッグサイトで開催された全国大会に出場し、個人部門で川上理湖選手が全国第8位に入賞するなど、優秀な成績を修めました。

◆団体部門

優勝 高根東小A
準優勝 高根東小B
第3位 鰺沢小

◆個人部門

優勝 川上理湖(高根東小)
準優勝 眞道修光(高根東小)
第3位 坂本くるみ(高根東小)



優勝した高根東小チーム

地域交通安全活動推進委員研修会の開催

(一財)山梨県交通安全協会では、地域交通安全活動推進委員への研修会を8月25日、山梨県総合交通センターにて開催しました。地域交通安全活動推進委員制度は、地域における道路交通のモラルを向上させ、交通安全の確保について住民の理解を深めるため諸活動のリーダーとして活躍していただくボランティアの人たちに法律上の資格が付与され、その活動の促進を図るために設けられた制度です。



今回の研修会は、この制度がより効果的に機能するために、山梨県公安委員会より委嘱された委員の中で、県下の46名に対して実施しました。

受講者は、本制度の意義、法的地位や活動上の注意事項等について、警察本部員からの講話を受講したほか、DVDの視聴やセンターにおける実技体験など、有意義な研修会を実施しました。

反射材の普及・啓発活動～老人クラブ連合会に反射材寄贈

(一財)山梨県交通安全協会では、夜間の高齢者事故防止対策の一環として、各種反射材を購入し、「山梨県老人クラブ連合会」に寄贈しました。

寄贈した反射材は、反射ベストやタスキなど身体に付けるものや靴・鞆に付けるもの、更には自転車に付けるもの等種々あり、用途に応じ活用してもらい、高齢者の交通事故防止を図るために、県連合会を通じて県下のクラブ員への配布を依頼しました。



各地区交通安全協会の活動

～秋の全国交通安全運動特集～



交通安全高齢者グラウンドゴルフ大会の開催



交通安全出発式の開催



交通安全出発式の開催



飲酒運転根絶隊長任命式の開催



交通安全高齢者グラウンドゴルフ大会の開催



女性部による高齢者への交通安全指導



死亡事故現場による交通安全祈願祭の開催



街頭指導所の開設



交通安全ゲートボール大会の開催



一日警察署長による交通安全指導



街頭指導所の開設



幼児による交通安全宣言の発出

～賛助会員の募集～

(一財)山梨県交通安全協会では、各種交通安全活動にご協力をいただき、企業等との連携による交通事故防止を図るために、賛助会員を募集しております。ご協力をお願いします。

現在支援を頂いております企業は、下表の皆様です。

< 順不同 >

山梨交通(株)	(株)坂本建運	(株)甲斐興運	(株)OTY フィール
富士急行(株)	山梨スズキ販売(株)	(株)たいよう共済	(株)城南ロードサービス
(株)アドブレーン社	石岡(有)	(株)ハートフルスタッフ	(株)マルヒ自動車整備工場
(株)やさしい手甲府	(株)テレビ山梨	(株)山梨中央広告社	(株)日本ネットワークサービス
VanaH(株)	(株)山梨リース	富士電線(株)	山梨県遊技業協同組合
(株)早野組	富士見工芸(株)	帝石パイプライン(株)	(株)マルモ
(株)山梨放送	(株)YSKe-com	(株)ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ	